

大使館火災は放火か！ - 西日本防災システム

2013 08 16

8月16日 6月に発生したアフリカのコンゴ民主共和国の日本大使館火災について捜査するために、警視庁は、現地へ警視庁の捜査1課や鑑識課の捜査員らおよそ15人を派遣しました。

この火災は、今年6月、アフリカ中部にあるコンゴ民主共和国の首都・キンシャサで、日本大使館が入る建物から出火し、大使館が半焼したものです。この火災について、警視庁は外務省から相談を受けていましたが、放火の疑いがあるとして、今回、捜査員の派遣を決めたようです。

捜査員らは現場を実況見分したり、大使館職員から事情を聴くなどして、出火の原因を調べることにしているそうです。時間が経過していますので少し心配です。



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 